

「フェイクを見極める」

開催地：大分

グループ： B班

2021.8.22

フェイクを見極める

フェイクの種類

悪いフェイク

- ・ 陰謀論

良いフェイク

- ・ サンタクロース
- ・ 誕生日のサプライズ



自分の発言に責任
を持たなくて良い

フェイクを見極める方法 (情報の受け手の場合)

絶対的に正しい情報→自分で直接入手した物に限られている

そのため、究極的に正しい情報はインターネットには存在しないという事を、前提として持つべき

しかし、何らかしらの情報を暫定的にも、正しいものとして扱わなければ、世の中はあまりにも生きにくい

だから、情報の受け手は前述の前提を持った上で、その情報を様々な角度から考察し、論理性、合理性に問題ないかを考慮すべき

フェイクを見極める方法 (情報の発信者の場合)

情報の受け手がフェイクを見極めるためには、情報の発信者が正しい情報を流通させるように心がける必要がある

デマを流した人間を罰するための特定の法律を作るのは難しい。故意かどうかの判別が難しいから

しかし、日本人の民族性、文化にデマを流すのは悪い、という価値観を作ること
は可能だと思う。

フェイクを見極める技術を養うために

インターネットの情報社会において誰でも情報を発信できる用になった現代では、

- ・ 社会制度（SNSアプリの仕様）
 - ・ 情報を利用する能力の育成
- の3つを整備する必要がある。

提言

社会制度

デマを流すことは、悪いという風潮を作る

例 実例を知る

情報を利用する能力の育成

教育によって情報を見極める力をつける

例 あえて一度フェイクにかかってもらう